スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

高知県南国市

自 治 体 名 ： 高知県南国市
担 当 課 名 ： 学校教育課
電 話 番 号 ： ０８８-８８０-６５６８

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	125.4 ㎢
人口	45,977人 （R6.5）
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	933 人（R6.5）
部活動数	29 部活（R6.4） ※文化部活動を除く
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	南国市運動部活動改革推進委員会（R2設置）
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	検討中

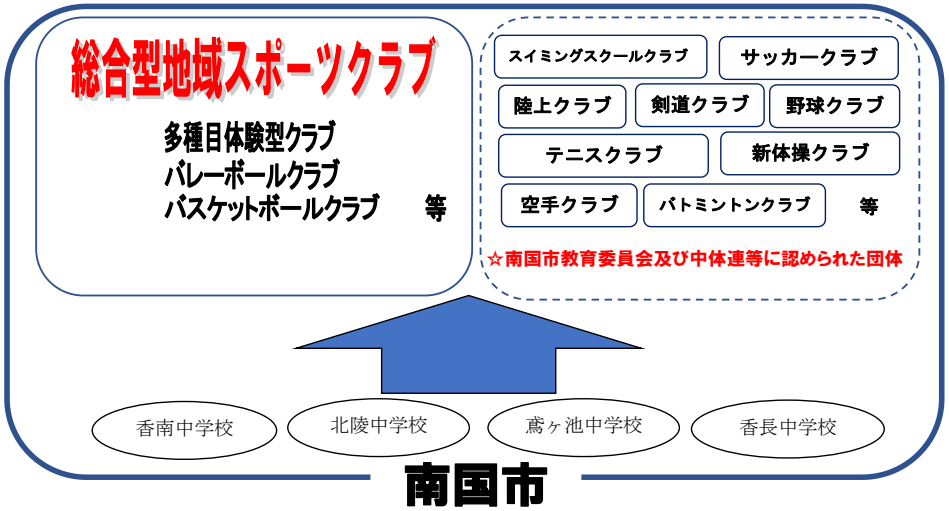
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

南国市には生徒数530名の香長中学校から189名の北陵中学校、145名の鳶ヶ池中学校、69名の香南中学校の4校がある。運動部活動数には違いはあるが、加入率は今年度52.3%と以前と比べると減少傾向にある。原因としては、生徒アンケートによると、やりたい運動スポーツが学校にないこと、学校に専門的な指導者がいないこと等の理由が挙げられる。

部活動の顧問は、どの学校も複数指導体制を敷いているが専門的に指導が可能と言っている教員（顧問・副顧問）は南国市55.2%となっているため、部活動指導員を7名配置して対応しており成果が上がっている。

地域移行・連携に関して教員、保護者、地域の理解は進み、一方これまでに総合型地域スポーツクラブ（バレーボール、バスケットボール、多種目体験型クラブ）と地域クラブ（柔道、バレーボール）に移行することができた。しかしながらクラブによっては運営費用に苦慮し保護者の負担が増大する懸念を抱えているところもある。今後の課題の最たるものは教員に代わっての資質指導力ある指導者の確保であり、その報酬費などどのように担保するかである。

また、令和8年度からの改革実行期間にあたり市内全中学校の部活動をそれぞれの学校の現状に応じてどのような移行・連携の形にするのかの明確な方向性を提示することもこれからの大きな課題である。

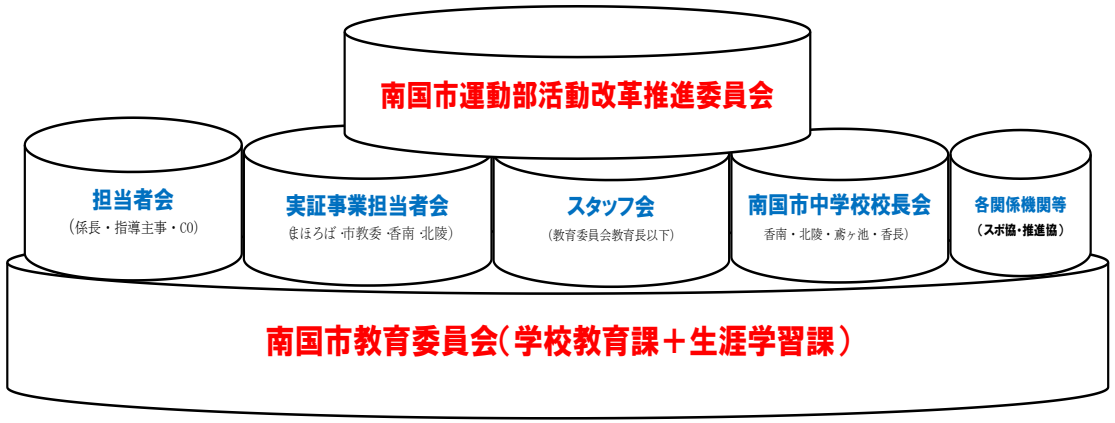


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・学校教育課＆生涯学習課
部活動改革推進委員会開催、課内協議、まほろばクラブ南国との連携 、学校並びに関係機関との連携、保護者市民への対応

・学校教育課
県保健体育課、県・支部中体連、県スポーツ協会との連携

・生涯学習課
学校並びに社会体育施設等の管理運営

◉首長部局

財政的措置

年間の事業スケジュール

4月　部活動総括コーディネーター　同コーディネーター配置
担当者会　改革推進実証校（香南・北陵）との協議
まほろばクラブ南国との協議

5月　担当者会　第1回スタッフ会　実証事業担当者会
まほろばクラブ南国との協議

6月　担当者会　第1回部活動改革推進委員会　中学校校長会
まほろばクラブ南国との協議

7月　担当者会　改革推進実証校との協議　実証事業担当者会
まほろばクラブ南国との協議

8月　担当者会　第2回部活動改革推進委員会
まほろばクラブ南国との協議

9月　担当者会　実証事業担当者会　まほろばクラブ南国との協議

10月　担当者会　第2回スタッフ会　中学校校長会
改革推進実証校との協議　まほろばクラブ南国との協議

11月　担当者会　第3回部活動改革推進委員会
南国市小中校長会　まほろばクラブ南国との協議

12月　担当者会　実証事業担当者会　まほろばクラブ南国との協議

1月　担当者会　第4回部活動改革推進委員会
改革推進実証校との協議　中学校校長会
まほろばクラブ南国との協議

2月　担当者会　第5回部活動改革推進委員会
まほろばクラブ南国との協議　実証事業担当者会
第3回スタッフ会（今年度のまとめと来年度の取り組み）

3月　担当者会　実証事業担当者会　改革推進実証校との協議
まほろばクラブ南国との協議

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4 校	実施した地域クラブ総数	3 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1 クラブ
全体の指導者数	4 名	全体の運営スタッフ数	4 名

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
まほろばクラブ南国	総合型地域スポーツクラブ	バレーボール	5 回 / 週	16:30～18:30	1年4名 2年3名 3年6名	通年	香南中学校 北陵中学校	2 人	2人（兼務）	500円/月	中体連大会へ
		バスケットボール	5 回 / 週	16:30～18:30	3年1名	通年	香南中学校	1 人	1 人	500円/月	なし
		多種目体験型クラブ	3 回 / 週	16:30～18:30	1年2名	通年	香南中学校	1 人	1 人（兼務）	500円/月	なし

③その他、体験会やイベント等の開催実績

2.実証内容と成果

スポーツ庁

主な取組例

●まほろばクラブ南国　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール バスケットボール（活動休止中） 多種目体験型クラブ
運営団体名	NPO法人まほろばクラブ南国 （総合型地域スポーツクラブ）
期間と日数	通年での活動 女子バレーボール：5回/週 多種目体験型クラブ：3回/週
指導者の主な属性	教員（兼職兼業）、クラブ指導員
活動場所	香南中学校、南国市立スポーツセンター
主な移動手段	徒歩　自転車　自家用車　公用車 クラブ所有バス
１人あたりの参加会費等（年額）	6,000円 / 月
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●クラブ代表

役割：クラブ全体を統括し、その責任を負う。
クラブから講習や合同練習、体験会等の企画を行う。

●指導者（監督・コーチ）　３名（バレー2名、多種目1名）

役割：生徒の指導にあたる。
練習計画を立案する。

●コーディネーター

役割：クラブ、指導者、学校関係者の意思疎通が図れるよう、連絡をつなぐ。
練習計画発出等の生徒向けの資料作成、保護者対応を行う。
大会参加申込等の事務手続きを行う。

●窓口教諭

役割：学校行事や生徒の様子で気になる点などをクラブに伝える。
学校体育館の使用状況を他の部活動と調整する。
※ただし、これらの業務もコーディネーター、クラブへと徐々に移行中。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備　／　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

①部活動改革推進委員会の開催
②改革推進実証校（香南・北陵）との協議
③中学校校長会での協議
④まほろばクラブ南国との協議
⑤県保健体育課と県中体連との連携
⑥スタッフ会

コーディネーターの具体的な動きの実績

〇総括コーディネーターとコーディネーター（まほろばクラブへ出向）
・部活動改革推進委員会の計画と実施
・地域移行に向けてのまほろばクラブとの連携協力
※移行期間中のバレーボールクラブの運営（事務、経費、引率、広報など）
※多種目体験型クラブ指導
・地域移行に向けた地域クラブ設立への支援と県中体連への加盟手続き
・改革推進実証校の地域移行への保護者説明会の実施
・部活動指導員への活動支援と研修講習の実施
・市スポーツ協会主催の指導者講習会開催への協力
・指導者への指導者資格取得への援助
・地域の指導者と意見交換
・市内中学校運動部活動の視察による現状把握と顧問との意見交換
・県保健体育課や県中体連との協議や懇談等
・市中学校運動部活動ガイドライン改定作業

取組の成果

①幅広い立場の委員からの声を集めることができた。委員の力強い支援が本市の地域移行の礎となった。
②先進的な取り組みには課題も多かったが、両校の校長の協力により成果が上がっている。
③特に部活動ガイドラインの改定にあたっては学校現場の理解を得ることができ、更に地域移行に関しての教職員の意識改革が図れた。
④常に情報共有を行うことで移行の実際の進捗状況を確認できた。軌道修正を適宜行うことで取り組みが発展した。
⑤必要に応じて指導助言をもらいタイムリーな情報を得ることができた。また課題や問題提起をすることで互いに一体感が醸成された。
⑥本市教育長をトップとした地域移行に向けての教育委員会の最高機関であり風通しの良い組織となっている。

今後の課題と対応方針

・推進委員会には毎回全員の出席がかなわず工夫が必要。委員からの移管提言には真摯に対応しなければならないが、事務局の取り組みのスピード感に欠けることがあった。
・今後、指導者の確保が必須だが、資質・指導力向上に向けての研修会などについては市スポーツ協会等とより確かな見通しを持ち綿密な計画が必要である。地域移行の視点のみならず、生涯スポーツから人づくり構想へとの大局観が必要である。
・指導者への謝金や旅費といった金銭的負担の課題もある。今後は、中学校全国体育大会を目指す生徒が、どの団体で競技を続けても不利益が出ないような配慮が必要となってくる。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

部活動指導員に対しては生徒と直接的に抱え割り合うことから本市としては以下の内容を用意した。

1）ハラスメントいじめ対応
2）救命講習
3）ゲートキーパー研修
4）ペップトーク
5）求められる指導者像

またスポーツ協会の主催する講習会にはスポーツに係る市民対象にペップトークと求められる指導者像について用意をした。

受講者の声

部活動指導員からはハラスメントいじめ対応、救命講習等全てにおいて好評であった。指導員として日々生徒に向き合っていることから必要性を理解していただいたように思う。ただし開催時間が昼間であって仕事時間とかぶっての実施であったため迷惑がかかったように思う。

指導者研修の参加実績

部活動指導員

ハラスメントいじめ研修　4月8日　4名/7名
救命講習　6月10日　5名/7名
ゲートキーパー研修　7月30日　3名/7名
ペップトーク　8月21日　2名/7名
求められる指導者像　10月6日　3名/7名

市民

ペップトーク　8月21日
求められる指導者像　9月22日　10月6日
※3回の参加人数　56名

今後の課題と対応方針

南国市内には社会体育関係団体が約140あり、その中でも小中学生の団体が約50存在する。これらの団体は子どもを直接的に指導していることからこの研修の参加の状況を見ても寂しいと言わざるを得ない。これは団体側の指導者としての意識の低さかも分からないが、行政や主催者の反省点であるともいえる。今後は関係者の意識改革と取り組みに工夫が必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①　／　キ：学校施設の活用等

取組事項

女子バレーボールクラブを中心とした活動の中で、4点（①保護者会の実施や規約作成　②ユニフォーム、Tシャツの作成　③地域大学との関わりの構築　④生徒への聞き取り調査の実施　⑤練習場所、練習日程・時間の調整）の取り組みを集中的に行った。

活動の詳細

①保護者会の実施や規約作成

第1回：5月17日	・規約（案）作成、提示 ・クラブ費、諸費用の出所の確認 ・新連絡網の作成、窓口係の決定 ・移動手段の確認、意見交換等 ・学校施設利用の調整等
第2回：7月27日	・（新チームスタートと同時に）規約確定、施行 ・ユニフォーム、Tシャツの作成に関する意見交換 →作成が決定、手順等整理 ・保護者会長、副会長の選定
第3回：12月21日	・活動時間変更に関する意見交換 →1月から平日の活動時間の変更を実施 ・チームカラーについての意見交換 ・体験会の開催について （クラブ員確保に向けた取り組み）

②ユニフォーム、Tシャツの作成。
複数案を提示し、生徒の意見を集約して作成依頼。





2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

活動の詳細

③地域大学との関わりの構築

・女子バレーボールクラブは高知工科大学との合同練習会を実施。

・多種目体験型クラブは、高知大学地域協働学部まほろば実習班と連携。







④生徒への聞き取り調査の実施

主に活動時間、活動頻度、活動内容、生徒からの要望に関する聞き取りを行った。（10月実施）

そこで、来年度以降どのように活動していきたいのか、学校の部活動と比較して不便がないか等について聞き取った。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実②

●まほろば南国バレーボールクラブ保護者会より【保護者の意見】

取組の成果

①保護者会を定期的に実施することで、リアルタイムで抱えている問題点や課題を発見することにつながった。また、保護者の意見と生徒の考えが異なる場合もあり、生徒が活動しやすい環境を設定するための各方面からの意見の取捨選択が必要なことがわかり、現実的かつ運営組織の活性化につながる意見を反映できるようになった。

②クラブとしてのユニフォーム、Ｔシャツを作成することで、バレーボールクラブに所属する生徒の活動意欲が芽生え、一体感を生み出した。また、生徒や保護者の不安点を解消することができた。

③中学生にとって、お兄さんお姉さん的な存在である大学生との関わりを持つことによって、技術の向上はもちろん、自身の活動キャリア（中学生卒業後）のスポーツとの関わりを考えながら活動することで、一部ではあるが、長期的なスポーツライフを考えた取り組みができるようになった。

④生徒が日々不安に思ってることが判明した。その中で、次年度以降の活動形態の不明瞭さ、クラブ員不足への懸念があると分かり、活動形態の変更につながった。実際にR7年1月より、活動時間を変更して練習を実施することになった。

今後の課題と対応方針

地域で独自に立ち上げたクラブと異なり、部活動から地域移行・地域連携を図っているため、クラブの方針を独自で決めることができていない。そのため、生徒や保護者から、地域の他クラブに比べて、運営方針や目標等が不明瞭な点がある。活動を進めていく中で、クラブ内でもっと協議を重ね、クラブの運営形態・方針等をより明確にしていくことが必要である。

また、大会参加費等、受益者負担が増える可能性もあるため、費用の捻出方法も課題となる。今後、生徒を他校からも集めるとなった場合には、送迎方法の多様化は避けられず、生徒を送迎できる手段を考える必要もある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ク：その他の取組

取組事項

〈地域クラブの設立〉

地域クラブとして、香長オールスターズが新設された。香長中学校の女子バレーボール部が近年の部員不足からクラブ組織に変わることにより、近隣から生徒を集め活動を活性化しようと令和6年8月より県中体連に加盟。

取組の成果

部活動と違い、はっきりとした方針と理解のもと活動ができる。生徒も部活動もより高度な指導を望み積極的である。

課題としては、部活動から離れたことで学校（PTA）からの援助がなくなり、費用面で運営に苦慮している。

指導者の属性や配置の工夫

・指導者の属性

これまでの顧問が兼職兼業の措置で対応している。指導スタッフは他3名（講師や自営業者）。なお、この顧問は県選抜チームの監督を務めたこともある一流の指導者である。

今後の課題と対応方針

前述したとおり、運営費に苦慮している。今後会費の値上げも検討している。






2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ク：その他の取組

取組事項

〈地域クラブの設立〉

これまでのクラブ（中学生、小学生、幼児）の方針から、中体連に加盟することで方針を一部変更する。クラブとして中体連の大会にも出場するようになった。令和6年5月に県中体連に加盟。

取組の成果

学校に柔道部のない生徒をはじめ、広く受け皿となった。
今夏の県総体では個人戦で入賞者が出た。
課題は運営費や遠征費に苦慮していることである。

指導者の属性や配置の工夫

・指導者の属性
教員、警察官、自営業者などで運営







2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

本市では部活動の地域移行を①「子どもが運動スポーツに親しむ機会を確保する」、教師、保護者だけでなく②「地域の大人が指導者として関わる」、③「教員の働き方改革につなげる」というこの3つを基本に、全ての学校の生徒が自分の望む運動ができる環境を整えることを目的として、令和5年度からこの事業を推進してきた。南国市では総合型地域スポーツクラブまほろばクラブ南国（以下「まほろば」）の存在は大きく老若男女、誰もが自分の意思と能力に応じて運動スポーツに親しむ機会が保証されている。香南中学校と北陵中学校での実証事業は、「まほろば」の献身的で真摯な取り組みにより成果が徐々に見え始めた。部活動の地域移行が目に見える形になったこと、「まほろば」と学校、教育行政が三位一体となっていること、そのことが保護者市民をはじめ地域に部活動の地域移行が認知（市議会の一般質問にも上がったこと）されてきたことで着実に部活動の地域移行は進んでいる。

今年度は、その他の地域クラブも立ち上がり、それぞれ活動を始めたことや来年度にも新たな地域クラブが発足するという情報も寄せられている。また、学校現場では、教員から地域移行を望む声が聞かれるのも事実である。

しかしながら、 学校の運動部活動を地域移行する場合には、指導者の確保と、これまで市や保護者が負担していなかった指導者への謝金や旅費といった金銭的負担等、様々な課題がある。今後は、中学校全国体育大会を目指す生徒が、どの団体で競技を続けても不利益が出ないような配慮が必要となってくる。多くの関係者が一致協力、英知を集結してこの部活動改革を成功させなければならない。

●成果の評価

総括に記載

●今後に向けて

総括に記載

※今後も、大小の課題をひとつひとつ明確にし、その問題点と解決策を明らかにし、短中長期の目標を立て、誰が（どこが）いつまでにどのように取り組むのかを示していく。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

聞き取り調査結果・参加者の声

●聞き取り調査結果より

調査対象	まほろば南国女子バレーボールクラブ所属の１・２年生　８名 （内訳：香南中２年生３名、香南中１年生３名、北陵中１年生２名）
調査日時	令和６年１０月１０日（北陵中２名）、１０月１７日（香南中６名）
調査方法	対面、聞き取り方式（※周囲の意見は関係なく答えられる環境）
調査に至った経緯	生徒や保護者が現状の活動に不安を抱いていること（来年度新入生が入ってくるのか、広告を早めに行いたいが活動時間等の来年度の運営方針が確定していないためできないなど）が保護者の声により判明し、「生徒に聞いてほしい」という意見があった。そこで、クラブとして現存会員の想いを大切にしながらより適切な運営方法を考えていくため、調査を実施した。
調査内容	●活動日時 ・（香南中生徒は）平日について放課後すぐに活動したい思いはあるが、他校から新入生も入ってほしい、クラブの人数を増やしたいという思いから、活動時間の変更はやむを得ないと考えている。 ・全員でそろって練習を始めることが、チーム力向上にもつながる。 ・塾など、既存の習い事との関係性（私用）を考える必要もある。 ●活動内容 ・動画で学ぶ時間も効果的。 ・バレーにつながるトレーニングや食事の学習もしたい。 ●活動の変化 ・（現2年生は）不自由なく部活動から変化できていると感じる一方、クラブとしてのメリットを生かしきれていないと感じている。 ・テスト期間やボランティア活動への参加についても、チームで方針を統一して活動しやすい状況を作りたい。

生徒の意見をもとに、指導者、関係各校、教育委員会事務局と打ち合わせ、課題や今後の方針を整理。→12月保護者会に諮った

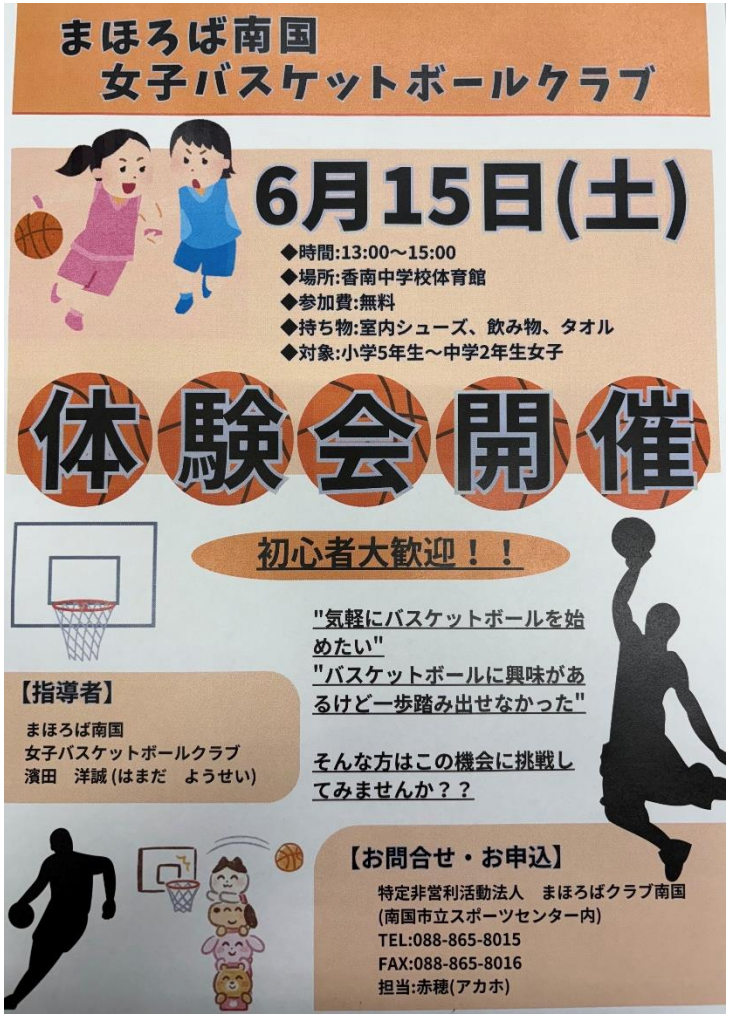
2.実証内容と成果③

スポーツ庁

広報資料



【年度当初広報チラシ】



【バスケットボール体験会チラシ】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【部活動改革推進委員会】



【女子バレーボールクラブ　活動の様子】



【多種目体験型クラブ　活動の様子】



【女子バスケットボールクラブ　体験会の様子】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

実証事業開始
学校現場との調整

▶

予算検討
対象学校との協議
部活動取り組み拡大

▶

令和7年

地域クラブ活動
の体制完成

▶

指導者の完全確保
利用施設の確定
予算確保

▶

令和8年

地域移行改革実
行期間開始

●ステークホルダー
まほろばクラブ南国の活動

●経過
令和5年度からの計画を具体化
バレーボール、バスケットボール、新たに多種目体験型クラブを新設

●実施にあたって生じた課題
登録費、大会参加費、ユニフォーム代等の保護者の不安があった

●実施内容、工夫した点 等
丁寧な取り組みと話し合い
※柔道とバレーボールクラブが地域クラブとして発足

●ステークホルダー
改革推進委員会を中心に協議

●経過
指導者、利用施設、予算確保について検討

●実施にあたって生じた課題
関係機関・団体がどのように共通理解を図るか

※各校、各部の地域移行・連携への具体的イメージをもつ

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

学校名	部活動名	R6	R7	R8
香南中学校	☆女子バレー	まほろばクラブ南国　※実証事業【学校代表者】	まほろばクラブ南国　※実証事業 【鷲ヶ池・香長へ募集広報】	まほろばクラブ南国 完全移行
	☆女子バスケット	まほろばクラブ南国　※実証事業【学校代表者】		
	☆多種目体験型	まほろばクラブ南国　※実証事業	まほろばクラブ南国　※実証事業 【北陵・鷲ヶ池・香長へ募集広報】	まほろばクラブ南国 完全移行
	サッカー	合同チーム	合同チーム	合同チーム
	卓球		検討開始	
	☆男子バレー(新)	協議中（まほろばクラブ南国）	まほろばクラブ南国	まほろばクラブ南国
	野球(新)	協議中（拠点校方式）　※鷲ヶ池・香長	※拠点校方式	拠点校方式
北陵中学校	☆女子バレー	まほろばクラブ南国　※実証事業【学校代表者】	まほろばクラブ南国　※実証事業 【鷲ヶ池・香長へ募集広報】	まほろばクラブ南国 完全移行
	サッカー	合同チーム	合同チーム	合同チーム
	その他	バスケット：部活動指導員配置	検討開始	
	柔道【岡豊ジュニア柔道クラブ】	地域クラブ立ち上げ	地域クラブ	地域クラブ
鷲ヶ池中学校	サッカー	合同チーム	合同チーム	合同チーム
	野球	合同チーム（土佐町・嶺北）	検討中（拠点校・合同チーム）	
	その他	陸上・卓球：部活動指導員配置	検討開始	
香長中学校	女子バレー【香長ALL STARS】	地域クラブ立ち上げ　※部活動から	地域クラブ	地域クラブ
	その他	バスケット：部活動指導員配置		検討開始
	柔道【岡豊ジュニア柔道クラブ】	地域クラブ立ち上げ	地域クラブ	地域クラブ
	※相撲	地域クラブへ（香南市へ）	地域クラブ	地域クラブ

☆学校外クラブでの活動（新体操・バドミントン等検討）

【拠点校方式】とは
在籍校に希望する部活動がない場合に、参加を希望する生徒を
ひとつの学校が受け入れる方式。

【合同チーム】とは
部活動で競技の出場人数に満たさない学校同士で組むチーム。